

令和7年度

第11回 西諫早地区語らん場

日時: 令和7年10月30日(木)

場所: 西諫早公民館講堂

参加人数: 31名

作成: 北部地域包括支援センター

今回の語らん場の内容



高齢者の介護予防と生活支援体制を整備していくために、多世代との協力も大事になってきます。地域には多種多様な活動があります。今回は、いろんな形で若い世代と協力しながら活動している団体より、お話をいただきました。グループワークでは、「若い世代とのつながり、協力体制を築く」について意見交換をしました。

地域の取り組み発表

【真っ白enjoyクラブ】

フレイル予防教室から自主サークル化して1年半。皆で活動内容を考えるのも脳トレになります。他自治会の方との交流やみんなが笑っている顔を見れるが良いです。



真っ白enjoyクラブ
のメンバー



牧野理学療法士

【破籠井いきいきサロン】

地域の方の健康寿命延伸を目指して、経験を活かして、体操のアドバイスをしています。地域の役に立てていることを実感しています。

【白岩南部ひだまりサロン】

参加者の娘さんに、サロン開催のチラシや歌詞カードを作成してもらっています。若い方の発想も取りいれながら、皆さんにとって良い場所になるよう、活動しています。



竹口自治会長

アイスブレイク

♪会の合間に、ひと休憩♪

デイサービスのスタッフから、
脳トレ体操を教えてもらいました。
「(旗) 赤あげて、白あげて～、赤さげないで、
白さげて～」反射神経を鍛えます♪



デイサービス利楽スタッフ

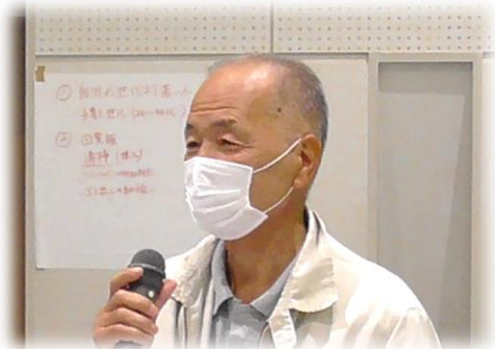
グループワーク

テーマ「若い世代とのつながり、協力体制を築く」



思い浮かべる「若い世代」とは、どの年代？

20～40代。
子育ても仕事も忙しい。



自分の世代より
若い人。



40～60代と思うが、
その世代は少ない。

50代。
子育ては落ち着いてきて
いる年代かもしれない。



共働き世帯が増えて、40～50
代とはなかなか会わない。



60代。
まだまだ若い。仕事している
人も多い。

どんな場面で、かかわりがありますか？

【イベントを通じてのかかわり】

- ・夏のラジオ体操、夏祭り、運動会
- ・スポーツゴミ拾い
- ・芋植え、芋掘り、焼き芋作り
- ・無縁仏の法要（破籠井町）
- ・棟ごとの清掃活動
- ・鬼火焼き、ペーロン など

【日ごろからのかかわり】

- ・回覧板をわたすとき。
- ・朝のウォーキングで挨拶を交わす。
- ・自治会を支えてくれるスタッフが、ほぼ40代の方。
- ・「めだか」活動の放課後に小学生と交流する。
- ・いきいきサロンでお茶当番をしてもらう。 など

こんなことも、意見として出ました。

- ・地域づくりに若い世代も関心を持ってもらえるといい。
- ・これからも、地域性やその時代、人に合わせて、地域づくりができていくとよい。
- ・若い世代が地域の情報をキャッチする方法がないかもしれない。
- ・地域で何かするとき、諫早ニュータウン施設の空き部屋の活用もできます。



SCよりコメント

今回は、取り組み発表やグループワークを通して、暮らしの中での若い世代とのかかわりについて、皆さんと共有することができました。多世代にわたり、地域づくりに関心を持つ方が増えるよう、これからも地域の取り組みを発信していきたいと思います。